

第289回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 令和5年6月12日（月） 11:00～12:00

2 開催場所 宇都宮東武ホテルグランデ

3 委員の出席 委員総数 5人
出席委員数 5人

(1) 出席委員の氏名 小笠原 伸 (委員長)
君島 理恵 (副委員長)
青木 敬信
新井 啓泰
高橋 淳

(2) 放送事業者側出席者 鈴木 峰雄 (代表取締役社長)
佐藤 望 (放送部長)
渡辺 裕介 (放送部)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

2023年6月6日に放送した番組、「B・E・A・T (火)」について、試聴と意見交換をおこなった。

事業者： スタートから6年を迎える夕方のワイド番組で、2021年からはソロ体制で放送している3時間。日替わりで出演する個性豊かなパーソナリティーがリスナーに寄り添い、賑やかな時間を演出しています。火曜日は岡田真善が担当しており、過去のヒット曲を振り返るコーナー「ミュージック・レガシー」を展開しているほか、4月から新規でジャズを入門編として紹介するミニコーナー「JAZZ QUESTION」をスタートさせました。宇都宮ジャズ協会のサクソ奏者やシンガーをアドバイザーに招き、さらに週替わりのゲストを迎えています。番組では、毎回メッセージテーマを設けて、リスナーからのメールを募る。放送回では「復活希望」がテーマでした。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：冒頭から情報量が多すぎ、かつ早口すぎて、話の内容が伝わらないまま進んでしまった。リスナーからのメッセージも、落としどころが無いままどんどん進んでしまう印象だったので、もっと丁寧な話し方が望ましい。

委員：宇都宮は「ジャズの街」というPRはしているものの、餃子などと比べるとまだまだ弱いので、ジャズのコーナーの新設は意義があると思う。今後も、初心者が聴いてもわかりやすいように工夫しながら、ラジオ放送でジャズの魅力を広めてほしい。また、せっかく良いゲストが来ているので、コーナーの放送時間だと短くてもったいないようにも感じた。今後、ジャズの専門的な番組へと発展していく可能性を感じる。

委員：全国旅行支援や車検証のルール変更など、フリートークで社会的なテーマに触れる場面があったが、「これはこうだ！」と強調されてしまうと、リスナーは受け止めにくい。個人の意見は入つつも、リスナーの様々な意見があることも考慮してバランスを取ってほしい。

委員：聴いていて「頭の回転が速いパーソナリティー」なのだと感じる。その速度についていけるリスナーは楽しめるかもしれないが、逆だとどンドン置いていかれてしまう感じもある。その点は、パーソナリティーまかせにせず、スタジオの外のディレクターも適度にアドバイスしてコントロールしてほしい。

委員：「ミュージック・レガシー」のコーナーは、中高年には非常に懐かしく聴ける時間だったし、メッセージテーマの「復活希望」についてのメール紹介でも懐かしいワードが聴けた。中年（40代以上）のリスナーをターゲットとした夕方の番組としては、ニーズに合っていると感じた。
(以上)

(2) その他

- ・事務局より、次回より新規の番組審議委員として宇津善行が加入する旨の連絡。

(3) 次回開催日程について

次回の開催を7月24日（月）とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日

- (1) 放送 6月25日（日）午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
- (2) 書面 本社事務所に備え置き
- (3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし